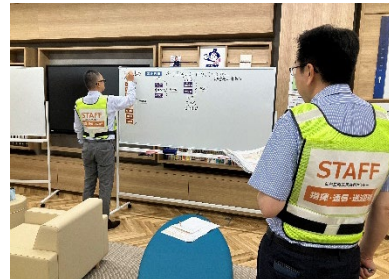


長町 FC にて 3 度目の一時滞在場所開設自主訓練を実施

開催日：2024年7月4日

仙台長町未来共創センター(以下長町 FC)にて、一時滞在場所開設の自主訓練を7月4日に実施いたしました。

当社は仙台長町未来共創センターを発災時等の一時滞在場所として開設する協定を仙台市と締結しており、長町駅周辺帰宅困難者対策連絡協議会にも所属しています。訓練は協議会主体で開催される全体訓練の他、当施設での自主訓練も実施しており、この自主訓練は2022年より開始し今回で3度目となります。



今回の訓練では、当社社員、(株)丸和運輸機関、(株)東北丸和ロジスティクスの従来メンバーに加え、仙台長町未来共創センターの入居企業様や、仙台駅周辺帰宅困難者対策連絡協議会の企業様にもご参加をいただきました。また、オブザーバーとして東北大学災害科学国際研究所の丸谷教授、仙台市危機管理局減災推進課の皆様にもお越しいただき、総勢46名とより規模の大きい訓練となりました。

訓練においては、帰宅困難者役の方々にそれぞれの独自タスクを付与。「乳児用のミルクのためのお湯が欲しい」「携帯の充電がしたい」「飛行機の運航状況を知りたい」等、一時滞在場所にて発生する可能性のあるリクエストを運営スタッフに投げかけ、運営スタッフはあらかじめ用意されている運営マニュアルや、各班のリーダーからの指示をもとに対応しました。



訓練参加者からは、「訓練に参加することにより、自分が入居する施設が災害時どのような役割を担うのかイメージが湧いた」「運営スタッフが各班に分かれ連携をとって行動できていた」等の意見が寄せられました。帰宅困難者役からのリクエストに対して施設としての対応が定まっていない、運営マニュアルに基づいた設営ができていない等、今後確認していくべき課題も多々出ました。今回の訓練の反省をもとに次回の訓練や発災の可能性に備えて施設として早急に対応を考え、実施してまいります。

帰宅困難者役のタスク(例)

〇〇行きの交通情報を教えてほしい/喫煙場所を案内してほしい/携帯の充電ができないか/家族の安否が心配なため徒歩で帰宅したい/乳児用のミルクのためのお湯が欲しい/乳児のおむつ交換をどこに行えばよいか/高齢のため避難スペースにて椅子に座りたい/携帯トイレの使い方を教えてほしい/あとから来る友人たちと合流したい/空腹のため配布物資とは別に食べ物が欲しい、他

訓練により出た感想・課題

- ・自分のリクエストに対し、担当スタッフが瞬時に判断し対応してくれたため安心感があった。(帰宅困難者役)
- ・一時滞在場所として十分な設備・物資が備わっており、自身の施設での運営の参考になった。(帰宅困難者役)
- ・運営スタッフ役として初めての参加だったが、各班のリーダーの指示で動くことができた。(運営スタッフ役)